

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/06/24号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需給引き締め観測で80ドル台に乗せる

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台まで値上がりし、4月30日以来の高値を更新する展開になった。需給引き締め観測が維持される中、押し目買い優勢の展開が続いている。石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産体制が維持される一方、季節的な需要拡大期待が強く、需給引き締めから在庫減少が進むとの見方が維持されている。また、中東情勢を取り巻く緊張感が改めて高まっていること、ロシア石油関連施設がウクライナ軍のドローン攻撃を受けたことなどもポジティブ。80ドル台乗せ後に利食い売りを入れる動きも鈍く、期近限月主導の上昇地合が維持された。

特段の新規売買材料は見当たらなかったが、需給ひっ迫見通しの織り込みが維持されている。6月2日にOPECプラスが減産規模の段階的な縮小を決める前の値位置を上回っている。7～9月期に向けて、季節的な需要拡大によって在庫取り崩しが進むとの見方が維持されている。OPECプラスの減産規模縮小は10月以降であり、少なくとも短期需給は引き締まるとの見方が優勢になっている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月14日時点）は、原油が前週255万バレル減、ガソリンが228万バレル減、石油精製品が173万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給引き締め観測で、緩やかなペースのレンジ切り上げ

需給引き締め観測を背景とした堅調地合が続く見通し。80ドル台回復で短期的な目標達成感もあるが、マクロな需給ひっ迫見通しの下値サポートが続こう。特に米原油、ガソリン在庫の取り崩しが前週に続いて確認されると、押し目買い優勢の地合が維持される可能性が高まる。あくまでも短期需給ひっ迫見通しとあって期近限月主導の上昇圧力に留まるが、80～85ドルをコアレンジに上値切り上げを打診する見通し。

前週に続いて大きなイベントは予定されていないが、需給引き締め観測に修正を迫るような動きの有無が焦点になる。供給サイドに関しては大きな動きは想定しづらいため、需要拡大見通しに修正を迫るような動きの有無が焦点になる。月末に向けて各国の経済指標が景気減速懸念を著しく高めるような動きがみられると、80ドル割れに向けて調整売りが膨らみやすくなる。一方で、季節的な需要拡大見通しが修正されないとの評価になると、押し目買い優勢の展開が維持される。

ただし、現状ではあくまでも需給ひっ迫「見通し」であり、実際の在庫取り崩しが本格化している訳ではない。このため、前週に続いて原油・石油製品在庫の取り崩しがみられるかに注目したい。季節的な在庫取り崩しの兆候が見られると、下値が固まりやすくなる。

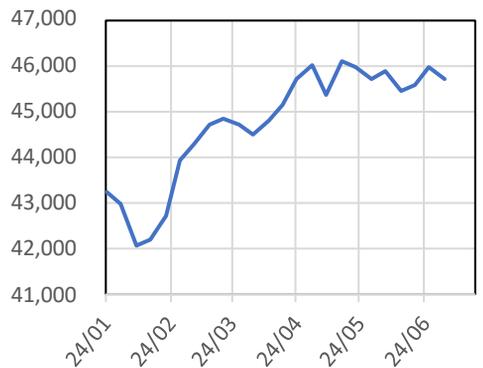
一方、中東ではイスラエルがガザ地区南部に対する戦車投入など攻勢を強めている。ヒズボラ最高指導者は、イスラエル北部への侵攻も辞さないとしており、本格的な軍事行動を展開する可能性も高まっている。直ちに原油供給に影響が生じる見通しにはないが、原油市場でも中東情勢に対する関心が改めて高まっているため、今後の展開には注意が求められる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

